

法政学会60周年記念

連続講演会

法政学会では設立60周年を記念して、各界（法曹界・国際社会・実業界・公共部門）で活躍されている関西学院大学法学部卒業生を中心に、連続講演会を開催します。

法政学会60周年記念  
講演会  
第2弾

(アフリカ開発会議)

TICAD・G8における  
日本政府の取り組み

国連システムとの援助協調と展望

- 日時／2008年6月20日(金)  
15:10～16:40(IV時限)
- 場所／B号館204教室
- 講師／ムラタ シュンイチ村田 俊一  
国連開発計画(UNDP)駐日代表



■学歴

関西学院大学法学部政治学科卒業。  
米国ジョージワシントン大学院修士課程および同大学院博士課程修了。  
その後米国ハーバード大学大学院ケネディスクール管理職特設プログラム修士課程修了。

■職歴

国連開発計画(UNDP)からウガンダ、中国、モンゴル、フィリピン等の各常駐代表事務所での勤務を経て1999年4月よりブータン常駐代表兼国連常駐調整官。2002年関西学院大学総合政策学部教授に就任。2006年11月、UNDP駐日代表に就任。2007年3月より外務省「国際協力に関する有識者会議」委員を務める。

世界を舞台に活躍する  
卒業生からのメッセージ

実業界・公共部門の講演会は  
秋学期に開催予定!



どなたでもご自由に  
参加できます。

主催：関西学院大学法政学会